

8-1 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動（2013年5月～10月） Seismic Activity in and around the Kinki, Chugoku and Shikoku Districts (May – October 2013)

気象庁 大阪管区气象台
Osaka District Meteorological Observatory, JMA

今期間、近畿・中国・四国地方とその周辺でM4.0以上の地震は7回発生したが、M5.0以上の地震は発生しなかった。

2013年5月～10月のM4.0以上の地震の震央分布を第1図(a)及び(b)に示す。

主な地震活動は以下のとおりである。

(1) 和歌山県北部の地震（M4.0，最大震度4，第2図）

2013年6月8日16時17分に和歌山県北部の深さ4kmでM4.0の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

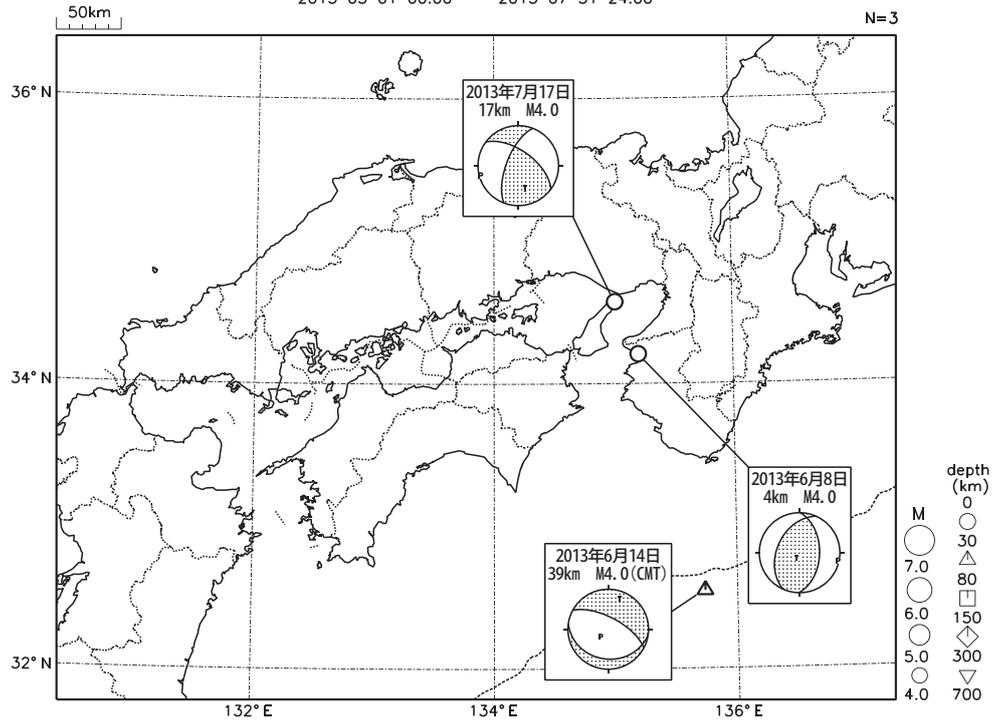
今回の地震の震源付近では、6月8日20時39分にM3.9（深さ4km，最大震度4）の地震が発生するなど、8日から14日にかけて震度1以上を観測する地震が9回発生した。

(2) 和歌山県南方沖の地震（M4.4，最大震度4，第3図）

2013年8月30日17時32分に和歌山県南方沖の深さ12kmでM4.4の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構は北北西－南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。

近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動(2013年5月~7月、 $M \geq 4.0$)

2013 05 01 00:00 -- 2013 07 31 24:00



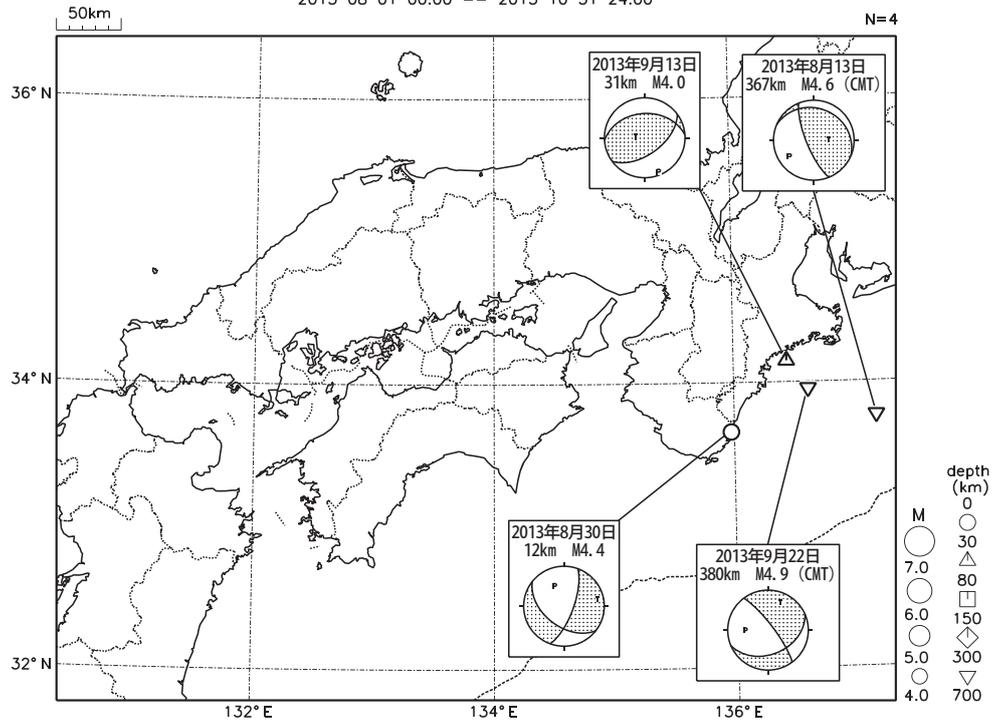
図中の吹き出しは、 $M4.0$ 以上

第1図(a) 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動 (2013年5月~7月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)

Fig.1(a) Seismic activity in and around the Kinki, Chugoku and Shikoku districts (May – July 2013, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km)

近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動(2013年8月~10月、 $M \geq 4.0$)

2013 08 01 00:00 -- 2013 10 31 24:00

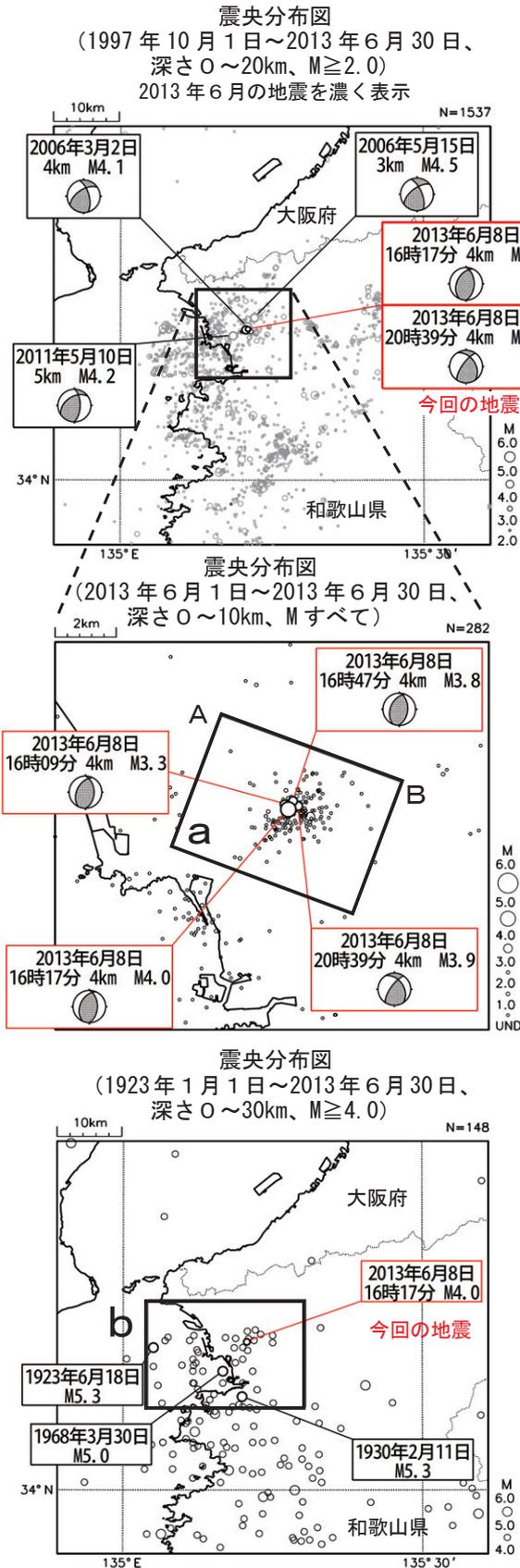


図中の吹き出しは、 $M4.0$ 以上

第1図(b) つづき (2013年8月~10月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)

Fig.1(b) Continued (August – October 2013, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km)

6月8日 和歌山県北部の地震

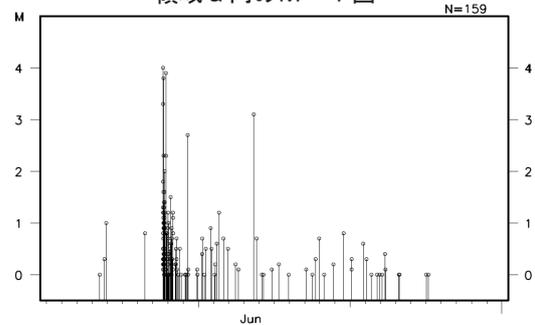


2013年6月8日16時17分に和歌山県北部の深さ4kmでM4.0の地震(最大震度4)が、また、同日20時39分にほぼ同じ場所でM3.9の地震(最大震度4)が発生した。今回の地震の震央付近(領域a)では、今回の地震を含め、14日にかけて震度1以上を観測する地震が9回発生し、いずれも地殻内で発生した。今回の地震活動の主な発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、その震源分布は概ね西方向に傾斜しているように見える。

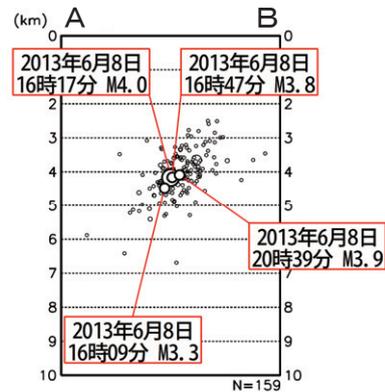
今回の地震により和歌山城内の石積が一部崩れる被害が生じた(和歌山県による)。

1923年1月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)は活動が活発な領域であり、M4.0以上の地震がしばしば発生しているが、M6.0以上の地震は発生していない。

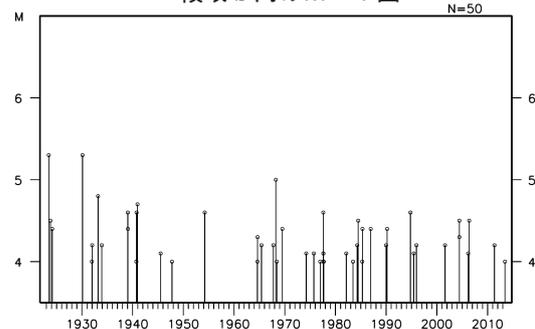
領域a内のM-T図



領域a内の断面図(A-B投影)



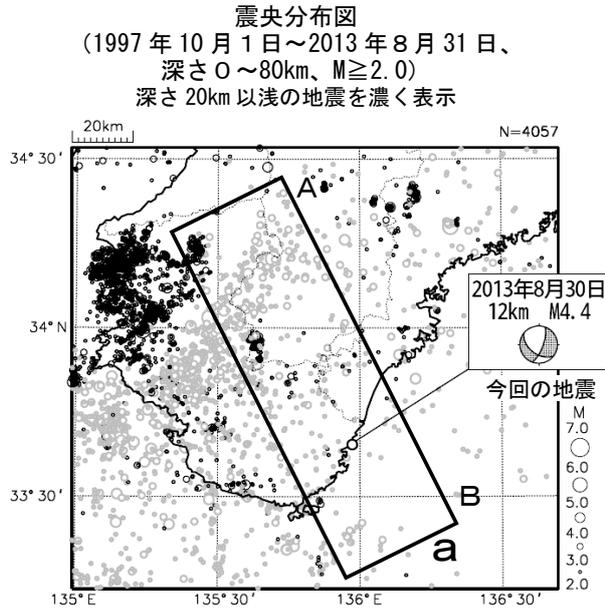
領域b内のM-T図



第2図 2013年6月8日 和歌山県北部の地震

Fig.2 The earthquake in the northern part of Wakayama Prefecture on June 8, 2013.

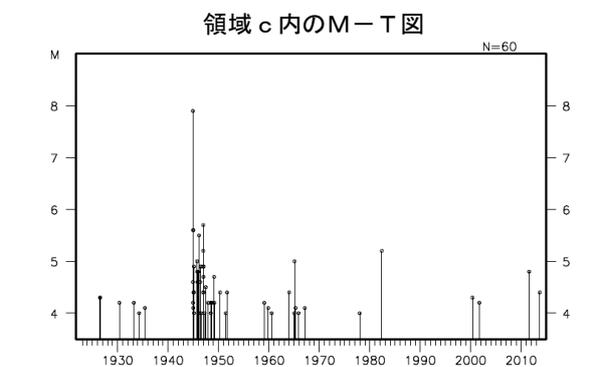
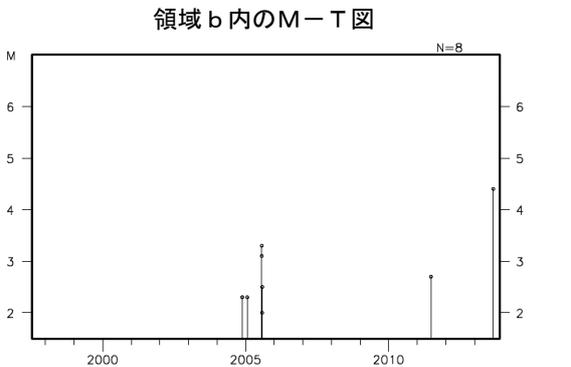
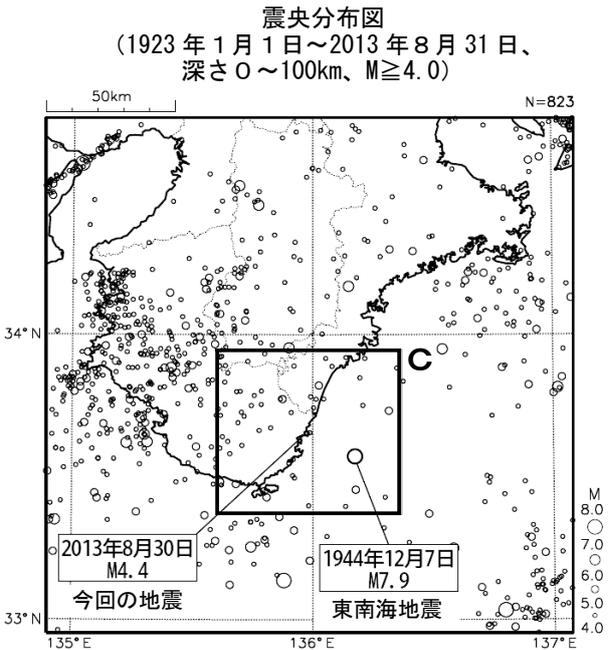
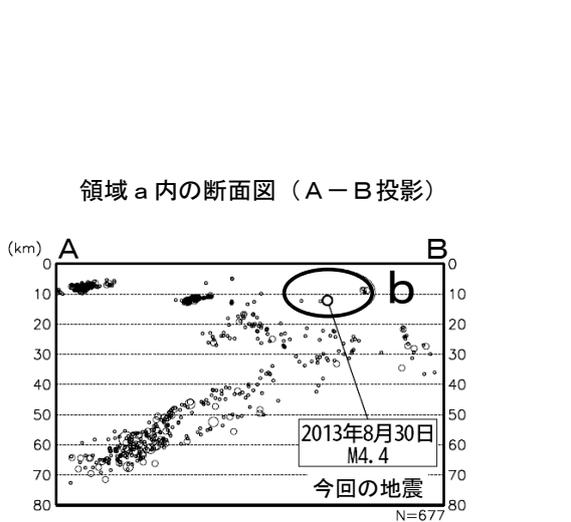
8月30日 和歌山県南方沖の地震



2013年8月30日17時32分に和歌山県南方沖の深さ12kmでM4.4の地震(最大震度4)が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の余震活動は低調に推移しており、8月31日現在、今回の地震の震源付近(領域b)では、M2.0以上の余震は発生していない。今回の地震により、和歌山県那智勝浦町及び太地町で、役場の窓ガラスにヒビが入る等の被害が生じた(8月31日現在、和歌山県による)。

1997年10月以降の活動を見ると、領域bでは、今回の地震までM4.0以上の地震は発生していなかった。

1923年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1944年12月7日にフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で、東南海地震(M7.9、最大震度6)が発生している。



第3図 2013年8月30日 和歌山県南方沖の地震

Fig.3 The earthquake south of Wakayama Prefecture on August 30, 2013.